

第4回 国分寺街道及び国 3・4・11 号線周辺まちづくり協議会議事録

日 時：平成30年1月17日（水） 午前10時00分～12時00分

場 所：国分寺駅ビル8階 国分寺Lホール

出席者：（協議会委員/五十音順 敬称略）

江守 央	小笠原 鐵治	小川 恵一郎	小林 治
高島 成三郎	豊田 淳子	長島 剛	中村 秀雄
原 俊男	平岡 実	本多 勝	宮下 清栄
森下 和仁	吉越 啓隆	和田 淳	

事務局：国分寺市まちづくり部まちづくり推進課

- 次 第：
1. 開会
 2. 国3・4・11号線新設区間周辺エリアのまちづくり方針の振り返り
 3. 第2回まちづくり懇談会の報告
 4. 国分寺街道周辺エリアのまちづくりについて
グループ検討
(1) 検討内容の説明
(2) グループ検討
(3) グループ発表
 5. その他
 6. 閉会

配布資料

- ・資料1：説明資料
- ・資料2：検討シート
【国分寺街道区間エリア 国分寺街道・国3・4・11号線重複区間エリア】
- ・参考資料-1：第2回まちづくり懇談会資料
- ・参考資料-2：第2回まちづくり懇談会意見のまとめ
- ・参考資料-3：第3回国分寺街道及び国3・4・11号線周辺まちづくり協議会議事録

【議 事】

1. **開会** 会長の開会宣言により協議会が開会。
2. **国3・4・11号線新設区間周辺エリアのまちづくり方針の振り返り**
事務局より、「国3・4・11号線新設区間周辺エリアのまちづくり方針」についてまちづくり方針の再確認と、記載内容の一部修正について説明。
3. **第2回まちづくり懇談会の報告**
事務局より、第2回まちづくり懇談会において今回のテーマである国分寺街道周辺エリアの望ましいまちづくりについて意見交換をしたことと、そこでの意見の概要を報告。

4. 国分寺街道周辺エリアのまちづくりについてグループ検討

(1) 検討内容の説明

事務局より、資料1に沿って説明。

(2) グループ検討

3グループに分かれて、国分寺街道区間エリア・重複区間エリアのまちづくりについて検討を行った。(検討内容は、別紙を参照)

(3) グループ発表・質疑応答

グループごとに意見の内容を発表。

<Aグループ> 豊田委員・森下委員・平岡委員・長島委員

発表者：長島委員

国分寺街道のみちづくりに関して、まちの人たちからすると安心して歩けるようにしたいというのがキーワードだと感じました。歩道の件であるとか、自動車の速度を20km/h以下にしようとか、電線地中化など、何らかの方法により、安心して安全に歩けるようにするというのが最低限の話だと感じました。居住者ベースだけでなく、来街者のことも考えると、違う切り口もあるのかなと考えました。また、「ぶんバス」を逆ルートにすると上り坂を登らずに、駅へ早く楽に行けるなど、バスの利便性が変わるという意見もあり、具体的に対応できそうなものもあるという気がしました。

国分寺街道区間エリアのまちづくりに関して、土地利用については、用途地域の変更は現実的ではないという意見でした。低層階に店舗を誘導することについては、具体的な成功事例が見当たらないのでどうなのかという意見が出ま

した。その他、地主との関係があるという意見、まち全体のことを考えていくにはマネジメントをしていくような人や組織が必要なのではという意見が出ました。

緑・景観については、基本的には規制しない方がよいという意見でした。ただし、日光街道や東海道の旧街道のように、しっかりと市全体で歴史・文化のある道づくり・ネットワークのことを考えていくのであれば別ですが、特に、規制しない方がよいのではと思います。

その他、自動車の自動運転の実験場所にしたらいいのではという意見も出ました。

重複区間エリアのまちづくりに関して、土地利用については、このエリアはあまり変えようがないという意見、商店街のイメージがしにくいという意見、商店街ではなく業務系を誘致した方がよいのではという意見、学生の誘導は簡単にできないという意見、区画整理や道路事業をるところだけではなく、それ以外のところで活性化を考えていった方がよいという意見がありました。

緑・景観については、道路をつくっていくところでは最大限の配慮をしてほしいという意見が多かったです。

その他については、大きな駐車場をつくるなど活性化に役立つような工夫をしてもよいのではという意見が出ました。以上です。

<Bグループ>和田委員・原委員・小林委員・宮下委員・小川委員

発表者：原委員

国分寺街道のみちづくりに関して、相互通行、一方通行、歩行者専用道路などそれぞれに意見が出て、どれか一つには絞ってはいません。

国分寺街道区間エリアのまちづくりに関して、土地利用については、近年もマンションなど新しい建物も建っており、壁面後退の規制は現実的には難しいと思います。ただし、今後のことを考えると、要請・要望の範囲でルールをつくって協力をしていただくようなことも必要ではという意見が出ました。商店街については、東元町商店会に商店街のあるべき姿の案を出してもらうのもよいと思います。

緑・景観については、新道によって削られる農地があり、地区の緑は減ってしまいます。国分寺街道に街路樹というわけにはいかないなので、できるだけ道路に面した方々にはプランタの設置などの協力をしていただけたらと思います。

安全・安心については、歩行空間を広げるため、電線地中化はやるべきだと思います。

その他については、国分寺は歴史のある史跡のまちであり、今後活性化して

人が集まってきた場合、トイレが少ないので対策が必要だという意見がありました。また、国分寺街道沿いは公有地がほとんどなく、駐車場や案内所を新たにすることも現実的に難しいので、商店街がそういった役割をある程度担うという意見が出ました。その他のアイデアとしては、週に1回歩行者天国にするとか、ポケットマーケットを実施するとか、一橋大の学生の事例のように東経大の学生にアンテナショップなどを運営してもらうなどといった意見があり、先々にはそういった試みにも取り組んでいくのがよいと思います。以上です。

<Cグループ>高島委員・小笠原委員・本多（勝）委員・吉越委員・江守委員・中村委員

発表者：鶴沢（コンサル）

先ず、まちづくりについても、みちづくりについても、3つのエリアを個別に考えるのではなくて、3つがどう連携するのか、さらに、史跡との関係、国分寺・史跡・西国のトライアングルの関係のなかで考える必要があるという意見が出ました。

国分寺街道のみちづくりに関して、地元に着した生活道路として、今後も維持していくのが基本であるという意見、歴史のある道であり歴史を残していくという意見が出ました。「ぶんバス」については、現在のまま国分寺街道を通行させるという意見が出ました。交通量については、徐々に工夫をしながら交通量を減らしていくという意見が出ました。また、交通量が減っていけば、イベントなどによる情報発信もできるのではという意見が出ました。

国分寺街道区間エリアのまちづくりに関して、土地利用については、用途地域は近隣商業地域を維持するという意見が出ました。低層階に店舗を誘導することについて、今できる話ではないが、そういったことを念頭に置きつつ考えていく必要があるという意見が出ました。地区計画制度を活用してインセンティブを与えることなどによって、低層階の店舗を誘導していくことを考えなくてはならないという意見が出ました。

緑・景観については、国分寺街道沿いは緑が少なく、できるのは壁面緑化くらいかなという話になり、もし壁面後退でスペースが出来れば、そこにプランタを置くなどの緑化への配慮ができるという意見が出ました。

安全・安心については、壁面後退をすれば歩行者の安全性が高くなるという意見が出ました。

その他、重複区間から新設区間と国分寺街道に分岐する入口の工夫が重要だという意見が出ました。自動車の通過交通の抑制にも関係するし、歩行者を引き込むことにも関係します。例えば、自転車のシェアリングスペースにするな

どの工夫が必要という意見が出ました。

重複区間エリアのまちづくりに関して、土地利用については、用途地域は近隣商業地域を維持するという意見が出ました。東経大が近いので、学生が利用するような商業施設を誘導するという意見、道路が広がることをインセンティブにしつつ、積極的に1階部分の商業系施設を誘導して、商業環境を維持していくという意見が出ました。以上です。

5. その他

事務局より、次回協議会日程案について説明。

6. 閉会

以上